

平成 24 年 3 月 6 日

大体連関東支部会員 各位

平成 24 年度大体連関東支部第 1 回研修会開催のご案内

全国大学体育連合関東支部長 小峯 力

標記研修会を下記の通り開催することになりました。今回は「大学の一般体育でいかにして舞踊を取りあげるか」をテーマに取り上げます。

今年度から中学の体育ではダンスが必修化されます。そこで、今回の研修では、舞踊（ダンス）の体育教材としての意味を考える会を企画しました。

第 1 部のパネルディスカッションでは、中学の必修化の意味を考えつつも、舞踊（ダンス）の体育教材としての教育的価値を、大学体育の場、あるいは一般社会の場にまで拡大し、みなさんと考えたいと思います。

第 2 部では、実技研修を中心とします。学習指導要領に明記されたヒップポップダンスを始め、教材としてのなじみは薄いですが、深い奥行きを持った舞踊（ダンス）として、インド舞踊と日本舞踊を取り上げ、舞踊（ダンス）の持っている特質について皆さんで体験し、考える会とします。第 2 部の実技指導者は、その道の一流の片をお招きしました。

今回の研修会には、会員の皆様だけでなく大学生や大学院生、さらには、実際に教育現場で研究や実践を行っている教員の方々にも是非参加していただきたいと考えております。皆様お誘い合わせの上ご参加ください。

記

【日 時】 3 月 29 日（木） 10：00～17：00

\*受付は 9:30 開始

【場 所】 東京大学 駒場キャンパス 2 1 KOMCEE

<http://www.c.u-tokyo.ac.jp/access/img/map2011.pdf>

9 号館隣

9:00 - 12:00 MM ホール・オープンスペースアリーナ

12:00-17:00 K101 教室

【問い合わせ先】 流通経済大学 田簗 ([tamino@rku.ac.jp](mailto:tamino@rku.ac.jp))

## <プログラム>

10：00～10：10 開会式

### 【第1部】

10：10～12：00 パネルディスカッション 「大学におけるダンスの教材としての価値」  
総合司会 天野勝弘（関東学園大学）

10：10～10：35 寺山由美（筑波大学）  
「中学におけるダンスの必修化の意図と意義」

10：35～11：00 中村恭子（順天堂大学）  
「大学体育における教材としてのダンス」

11：00～11：25 三浦哲都（東京大学大学院博士課程3年）  
「ヒップポップダンスの特徴 ～科学的知見からの検討～」

11：25～12：00 パネルディスカッション

12：00～13：00 休 憩

### 【第2部】

13：00～17：00 実技研修 「ダンスの体育教材としての価値を体験し、考える」

13：00～13：20 跡見順子（東京大学アイソトープ総合センター特任研究員、  
元大学体育連合関東支部支部長）  
基調講演 「ダンス・踊りと身体～バランス・柔軟性の科学的背景」

13：30～14：30 マチコ・ラクシュミー（インド舞踊家（バラタナーティウム））  
「インド舞踊を踊る」

14：30～15：30 西川右近（日本舞踊家、西川流三世家元）  
「日本舞踊を踊る」

15：30～15：45 休 憩

15：45～16：15 三浦哲都（東京大学大学院博士課程3年）  
「ヒップポップを踊る」

16：15～17：00 総合討論  
司会：天野勝弘、寺山由美、中村恭子

17：00～17：10 閉会式